

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)セルアーージュ南藤沢新築工事	階数	地上10F
建設地	神奈川県藤沢市南藤沢28-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年8月21日
敷地面積	454 m ²	作成者	有限会社ヒロ建築設計工房
建築面積	294 m ²	確認日	2023年8月29日
延床面積	2,205 m ²	確認者	有限会社ヒロ建築設計工房



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 95%

③上記+②以外の 95%

④上記+ 95%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用かつ、躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している建物、以上に配慮されている		その他 0
Q1 室内環境 開口部遮音性能: T-2以上、建築基準法を満たしており、かつ建築基準法規制対象外となる建築材料(告知対象外の建材およびJIS・JAS規格のF☆☆☆☆)をほぼ全面的(床・壁・天井・天井裏の面積の合計の70%以上の面積)に採用している、日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である	Q2 サービス性能 主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である、[BEI][BEIm]=0.88	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率: 95%、「光害対策ガイドライン」のチェックリストを一部満たし、広告物照明を行っていない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される